

新規事業評価調書
【街路事業】

都市計画道路西脇上戸田線
〔西脇道路(東本町工区)〕

県土整備部
土木局 道路街路課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 荒谷 一平 (街路班長 安井 誠一郎)	内線	4474 (4480)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
街路事業	都市計画道路 西脇上戸田線 [西脇道路(東本町工区)]	西脇市 ^{うへの} 上野 ^{にしわき} ～西脇	21 億円	16 億円	令和2 (2020)年度	令和6 (2024)年度
事業目的			事業内容			
<p>本路線は、西脇市の中心市街地の西側拠点「アピカ西脇」と国道175号をつなぐ道路で、中心市街地の骨格を形成する東西軸である。</p> <p>○ 安全な通行の確保 歩道と自転車専用通行帯を整備することにより、安全な通行を確保する。</p> <p>○ 中心市街地の活性化 西脇市新庁舎・市民交流施設の中心市街地への移転と合わせて道路整備を行うことにより、中心市街地の活性化を支援する。</p> <p>○ 防災機能の強化 無電柱化と拡幅により、緊急輸送道路の防災機能を強化する。</p>			<p>【延長】道路改築 520m</p> <p>【構造規格】第4種第1級</p> <p>【計画幅員】2車線 両側歩道・両側自転車専用通行帯 車道9.5m（全幅18.0m）</p> <p>【計画交通量】9,200台/日（R12推計）</p> <p>【現況交通量】 自動車7,945台/日（H27センサス） 自転車68台/12h（H27センサス） 歩行者55人/12h（H27センサス）</p> <p>【負担割合】 国55% 県22.5% 市22.5%</p>			
評価視点		評価結果の説明				
(1) 必要性		<p>① 現道は歩道が未整備であり、過去5箇年(H26～H30)で8件の交通事故が発生している。また、本路線は西脇市の自転車ネットワーク計画に位置づけられていること、一部は小学校の通学路となっていることから、歩行者・自転車の安全な通行を確保する必要がある。</p> <p>② 当路線は市の中心市街地活性化計画(H31.2)において、主要な東西軸（シンボルロード）として位置づけられている。沿道の旧来住家住宅・播州織工房館などの観光施設、さらに西側には業務・文化交流施設であるアピカ西脇、東側には医療福祉拠点である西脇病院、南側には新市庁舎・市民交流施設等が位置することから、これらの拠点をつなぐ軸として整備の必要性が高い。</p> <p>③ 広域の主要幹線である国道175号につながる緊急輸送道路に指定されており、無電柱化と拡幅により防災機能を強化する。</p>				
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)		<p>① 国道175号接続部から順次改築工事を進めており、引き続き本路線を整備することにより、一連区間が整備され、市域のネットワークが強化される。</p> <p>② 西脇市より、早期整備に向け事業用地の代替地について空き地等低未利用地を活用するなどの協力が示されている。</p>				
(3) 環境適合性		<p>① 歩道は、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p> <p>② 無電柱化により、良好な景観を形成する。</p>				
(4) 優先性		<p>① 新庁舎・市民交流施設が令和3(2021)年3月に完成予定であり、市街地の東西軸を形成する本路線の早期整備が必要である。</p> <p>② 「地域の防災道路強靱化プラン」に位置づけられており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上でも早期整備が必要である。</p>				
【事後評価】 対象・対象外		<p>① 全線完成後に、地域の活性効果、事業に対する県民の満足感等について検証し、事後評価を行う。</p>				

都市計画道路事業 (都)西脇上戸田線〔西脇道路(東本町工区)〕

位置図

- 凡例
- : 国道
 - - -: 国道(事業中)
 - : 県道
 - : 事業区間
 - : 公共施設、学校等
 - : 交通量調査地点



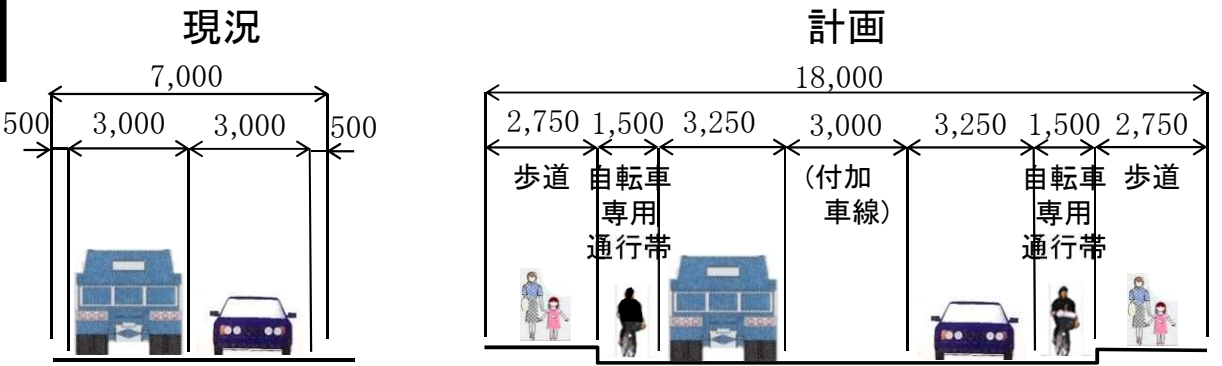
目的

- ①安全な通行の確保
- ②中心市街地の活性化
- ③防災機能の強化

事業概要

事業区間: 西脇市上野～西脇
 総事業費: 21億円
 内用地補償費: 16億円
 事業期間: R2～R6
 事業概要: 歩道設置
 自転車通行空間整備
 延長: 520m
 計画幅員: 9.5m(18.0m)
 計画交通量: 9,200台/日(R12推計)

横断図



工程表

工種	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
調査・設計	■				
用地補償 (補償44件)		■	■	■	
改良工事				■	■

事業の必要性・優先性

① 現道は歩道が無く、事故が多発しているため、通学児童等歩行者・自転車の安全な通行の確保が必要

現況写真等

① 通行・通学状況
(歩道未整備)



事業の必要性・優先性

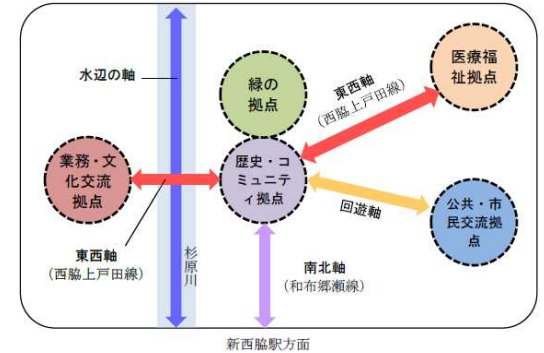
② 中心市街地の骨格となる東西軸(シンボルロード)の強化により、新市庁舎の整備を契機とした中心市街地の活性化に寄与

現況写真等

② 中心市街地の活性化

○ 西脇市まちなか(中心市街地)活性化計画(H31.2)での位置づけ
東西軸:「拠点をつなぐシンボルロードとしての整備」

<拠点と軸の形成イメージ>



○ 観光・産業等の支援

播州織工房館・旧来住家住宅に4万人以上が来館(H30実績)
道路整備で観光のアクセス改善・歩行者環境向上

播州織工房館

館内

← 播州織の歴史紹介商品の展示販売

旧来住家住宅

← 国登録有形文化財、レストラン併設、播州織製品(シャツ、バッグ等)の販売

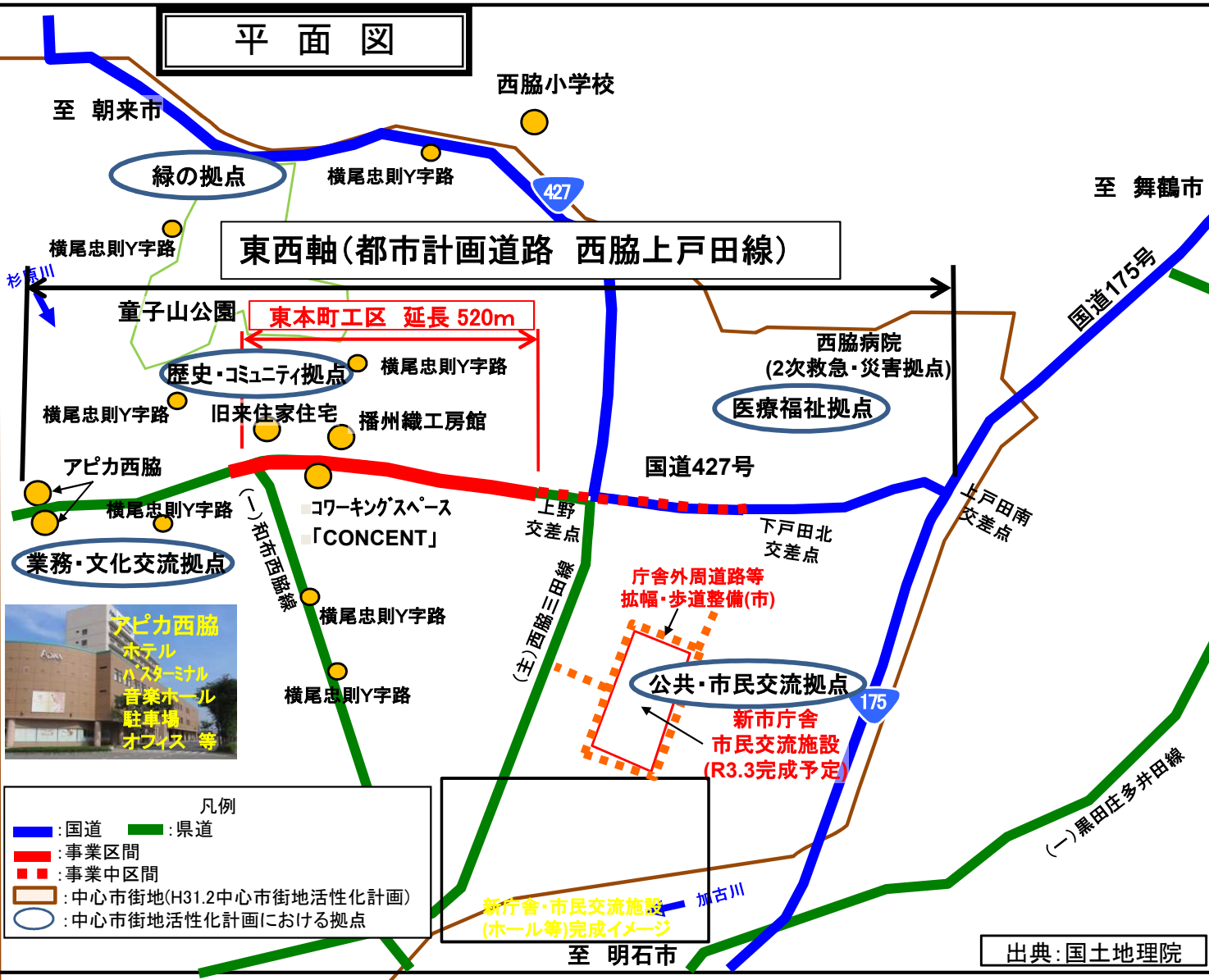
コワーキングスペース

横尾忠則Y字路

↑ 産地のデザイナー、研修生、学生等が自由に播州織の製品の開発や試作を行うワークスペース
← 西脇市出身の芸術家、横尾忠則氏の「Y字路」シリーズのモチーフとなった場所

※ 播州織: 西脇市を代表する地場産業。糸を先に染めて織り上げる独特の製法で、自然な風合い、豊かな色彩、肌触りの良さが特徴

平面図



出典: 国土地理院

